



Little Diamonds

無念！決勝進出ならず。 鹿島ユースにPK負け

Jユースカップ

初の決勝進出へ意気は高かった
(12/23 / 鹿島戦)

初の決勝進出はならなかった。第12回 Jユースカップ 2004決勝トーナメントで、三菱養和 SC、ジュビロ磐田ユースを破って準決勝に進んだレッズユースは、トップチームの2ndステージ優勝パレードが行われた12月23日、大阪の長居第2陸上競技場で鹿島アントラーズと対戦。後半ペースをつかみ先制したが追いつかれ、PK戦の末、敗れた。Jユースカップのベスト4は2度目で、これが現在までの最高位。今季は夏の日本クラブユース選手権(U-18)でも準決勝で敗退しており、決勝進出と優勝へ選手たちの意気は高かったが、果たせなかった。

(2面に関連記事、4面に関連写真)



先制するも追いつかれる

前半は鹿島の厳しいマークにあり、攻撃の形がなかなかできなかった。左右のクロスはゴール前に人数をかけた鹿島守備陣にはね返され、中央からの突破も複数でつぶされる場面が多かった。

後半は、ゴール近くまでドリブルで持ち込めるようになり、チャ

ンスが広がった。22分、鈴木竜基が中央から突破を試み、つぶされる寸前、右から走りこむ沢口泉にパス。沢口のシュートがGKにはじかれて得た左CKから、DF野島康宏がヘディングで先制した。

しかし31分、やはりCKで鹿島に追いつかれ、PK戦4-5で決勝進出を阻まれた。後半38分に、左FKから鈴木がヘディングシュートを放つがゴールを割る寸前でDFにクリアされるなど残念な場面があった。



主将の川嶋正之。よくDFラインを統率していた(12/23 / 鹿島戦)



後半23分、CKから野島康宏がヘディングシュートを決める
(12/23 / 鹿島戦)



後半22分、沢口泉が惜しいシュート。これがCKとなり先取点につながった
(12/23 / 鹿島戦)



左サイドをよく制していたウイングバックの萩尾勇真(12/23 / 鹿島戦)

第12回 Jユースカップ 2004 決勝トーナメント 準決勝			
2004年12月23日(木) 長居第2陸上競技場			
浦和レッズ ユース	1	0-0 1-1	1 鹿島アントラーズ ユース
(PK4-5)			
0 大橋基史	GK	杉原一貴	0
1 野島康宏		杉原亮太	0
0 川嶋正之	DF	後藤圭太	2
0 小松靖和		鈴木寿毅	2
0 金生谷仁		滝川敬祐	0
0 堤俊輔		吉澤佑哉	1
0 萩尾勇真	MF	田嶋慎吾	0
0 西澤代志也		郡司祐太	0
2 エスクデロ		山本拓弥	1
1 沢口泉	FW	関野達也	2
1 鈴木竜基		大崎智裕	1
5 SH	9		
11 GK	8		
3 CK	8		
18 FK	16		
交代【浦】山田純輝 0(後半24分沢口) 【鹿】黒澤光士 0(後半13分大崎)			
得点【浦】野島(後半23分) 【鹿】後藤(後半31分)			
警告【浦】西澤(ラフプレー) 【鹿】郡司(距離不足)			
審判(主)長谷忠志(副1)井上知大 (副2)小曾根 潮(第4)革島朋之			

Jリーガーを、夢でなく目標として



ゼネラルマネジャー
森 孝慈

こんにちは。クラブのゼネラルマネジャーをしています、森です。
ユース、ジュニアユースのみなさんは、年明けから練習や試合に励んでおられることと思います。
浦和レッズは、将来トップチームに入ってレギュラーで活躍できる選手を育て上げることを、下部組織の目標の第一に置いています。
今季、ユースから大山俊輔君と中村祐也君がトップに昇格します。この2人は去年から実質的にサテライトやトップの練習環境、生活環境に身を置いてもらい、結果としてそれが非常に成長に結びついたと思っています。今後、可能性のある選手はどんどんトップの練習に参加してもらおうつもりです。また、ユースから大学へ進む選手も4年後にJリーグから声がかかる可能性はありますから、目は離しません。
浦和レッズは昨シーズン、2ndステージで優勝を果たしました。今後、タイトルを取っていくことはもちろん、将来にわたって常勝チームとしてJのトップに位置するためにも、常に若い選手の力を必要としています。みなさんがJリーガーになることは、もはや夢ではなく目標です。それを心に刻んで毎日を過ごしてくれるよう、強化の総責任者として切にお願いします。

Reds on Record in Jr.Youth

大会名はResult参照			B	B	B	B	B	B	C
試合日(結果)			12/28	12/28	12/29	12/29	12/30	12/30	1/5
選手名			2-0	2-1	1-0	2-3	3-1	1-0	5-0
飯塚 大地	MF								
岡田 将知	MF								
岡本 翔平	FW								
高垣 大樹	MF								
高橋 大輝	DF								
田中 貴大	DF								
富居 大樹	GK								
野口 修平	DF								
橋口 弘斗	MF								
3 早松康太郎	GK								
久岡 真生	GK								
平田祐次郎	DF								
年 廣瀬 和桂	MF								
福島 悠斗	FW								
松本 昂大	DF								
三森 翔	MF								
矢部 雅明	MF								
山崎 家光	MF								
陸川 哲晃	DF								
渡辺 登太	DF								
長岡 彬	FW								
池西 佑樹	MF								
池田 涼司	DF								
井田 龍応	DF								
岩井 貴裕	DF								
岩井 陸	DF								
岸 幸太郎	FW								
慶徳 優	GK								
2 田 大志	DF								
菅井 順平	DF								
高橋 峻希	MF								
年 高山 直人	GK								
武富 尚紀	FW								
田仲 智紀	MF								
永田 拓也	DF								
沼 大輔	MF								
平野 又三	MF								
山田 直輝	MF								
藤田 圭介	DF								
和田 祐樹	MF								
池西 希	MF								
石沢 哲也	MF								
大里 康朗	DF								
加瀬 光	DF								
加藤 貴幸	MF								
北見 亮太	DF								
後藤 良平	GK								
齋藤 博	MF								
1 渋谷 将太	MF								
高瀬 優孝	FW								
高橋 秀行	DF								
利根川良太	MF								
根本 和毅	MF								
長谷川 凌	DF								
原 豊寛	GK								
原口 元気	MF								
簗本 啓太	FW								
森田 健介	MF								
山崎 大成	FW								

Action Result

YOUTH

- A: Jユースカップ**
第12回Jリーグユース選手権
決勝トーナメント1回戦
(埼玉スタジアム2ndグラウンド)
・12/12 3-2(前半1-0)三菱養和
決勝トーナメント2回戦
(小机競技場)
・12/19 5-2(前半0-1)磐田
決勝トーナメント準決勝
(長居第2競技場)
・12/23 1-1(前半0-0)鹿島
PK 4-5

Jユースカップ総括
攻守に質の高いサッカーができた
それに加
ユース監督・村松 浩

準決勝の鹿島戦は、相手がこちらの攻撃をかなり警戒して守備的にやってきたこともあり、これまでになく攻めのスペースが得られず苦戦して前半を終えました。後半は、それならば相手を上回る強さを見せて一対一でもどんどん勝負すること、相手が強く来たら早めに広いサイドにボールを回していくことなどを指示しました。
先制したCKを得た場面は、鈴木にいい形でパスが入り、一対一の勝負をしかけて、最後は沢口に回してそのシュートがGKに弾かれたものですが、それまでで最も良い攻めが出来たと思います。セットプレーも練習をしてきたのが生きました。
しかし追いつかれてしまいました。先制した後でもう少し自分たちでボールを保持する時間を長くしていれば、と思います。先行したことで、相手のプレッシャーがより強くなり、クリアするのが精いっぱいという時間帯が続いて、CKからやられてしまいました。PK戦になってからの結果は仕方ないと思っています。
夏に比べて、攻撃に関する意識は間違いなく強くなりました。個人ではなく組織でどう攻めるかということです。また守備に関しても、どこで頑張らなければいけないのか、自分が何をしなければいけないのか、自分は何をしなくてはいけないのか、がはっきりしてきました。攻守ともに夏よりは質の高いサッカーができるようになったと思います。
チーム全体のベースは去年より上がりました。これからは、こちらがイニシアチブを取るサッカーをいかにやっていくかを身に付けたいと思います。

JUNIOR YOUTH

- B: 第11回ジュビロ磐田 Jrユース (U-14) カップ**
(ジュビロ磐田スタジアム、他)
予選リーグBブロック
・12/28 2-0(前半0-0)岐阜 VAMOS
・12/28 2-1(前半0-0)ジュビロ沼津
・12/29 1-0(前半0-0)G大阪
1位トーナメント
・12/29 2-3(前半0-2)名古屋
・12/30 3-1(前半2-0)神戸
・12/30 1-0(前半0-0)大分
総合5位で終了

- C: 第14回県クラブユース (U-14)大会(新人戦)**
(春日谷高原西グラウンド)
二次リーグ
・1/15 5-0(前半3-0)東春72

2年生は最上級生としての気持ちで

ジュニアユース監督・名取 篤
年末のジュビロカップは、ケガ人を除く2年生全員と1年生5人で参加したのですが、特に1年生にとって実りの多い大会だったと思います。2年生に交じって大会に参加するのはほとんど初めてだと思いますが、3日間でも寝泊りを一緒にすることで気を使ったりして、2日目までは思ったより試合で力が出せませんでした。しかし、一対一で負けないとか、ルーズボールへの執着心とか2年生のプレーを見て感じることもあったでしょう。3日目になって、その悔しさもあってか、気持ちの入ったプレーを見せてくれた部分もありました。
現在、行われているU-14大会は新チームになって初めての大会で、これまでにはチャレンジという意識がありました。最上級生になって自分たちの力でやっていくんだという気持ちが必要になります。また1年生も、いつまでも1年生の気持ちではいられません。一つ一つの試合に勝つことはもちろんですが、内容にこだわったり自分たちのミスをなくしたりと、先を見た戦いをしてほしいですし、全員が攻守に休みなくできるようにしていきたいです。
うまい選手はどこにもいます。えて強い選手になってほしいと思います。

Jユースカップ、そしてレッズでの6年間を終えて

満足はできないが、納得している

FW 沢口 泉

最後まで試合に出られて良かったです。優勝にできなかったということは自分たちに足りないものがあったということで、満足はしていませんが、レッズで6年間サッカーをやってきた結果がJユースの3位ということで、納得はしています。試合ではむしろにいて点も取れましたし、自信にもつながりました。でも、最後のPKは蹴りたかったです。

サポーターのみなさんが、ユースのときから応援してくれて本当にうれしいです。自分としては次はレッズに戻ってきたときしか応援されることはないと思いますが、これからもユースを応援してあげてください。



Jユースカップ1回戦、三菱養和戦。途中出場し、後半44分にヘディングシュートを決めガッツポーズ。その後1点を返されたため、沢口のこのゴールが決勝点となった

準決勝の鹿島ユース戦ではスタメン出場した



大阪まで駆けつけたレッズサポーターからは、この試合を最後にチームをさる3年生に向けて温かい言葉が飛んでいた

PK戦で敗れ、スタンドにあいさつ。沢口は途中交代し、PKを蹴らなかった



村松監督から

沢口は、仕事量の点で物足りなさがずっとありましたが、最後のJユースカップでは、そのあたりの意識がすごく高まって、求められていることがグラウンドで表現できる選手になりました。典型的なストライカーで、点を取る形を持っている選手です。前線で体を張って戦えるようになりました。短期間で成長したと思います。

Reds on Record in Youth

大会名はResult参照		A	A	A
試合日(結果)		12/12	12/19	12/23
選手名		3-2	5-2	1-1 PK4-5
3年	大山 俊輔 MF			
	川嶋 正之 DF			
	小寺 潤 MF			
	沢口 泉 FW	1		
	小尾 優也 DF			
	杉原 一憲 GK			
	中村 祐也 MF			
	西川 優大 FW			
	星野 崇史 DF			
	細井 勇貴 DF			
	武藤 勝利 MF			
2年	市川雄太郎 FW			
	宇賀神友弥 MF			
	大橋 基史 GK			
	小池 純輝 FW			
	小松 裕志 MF			
	小松 靖和 DF			
	堤 俊輔 DF			
1年	西澤代志也 MF			
	野島 康宏 DF			1
	増田 孝輔 MF			
	森 慎太郎 MF			
	山田 純輝 DF		1	
	吉田 周太 DF			
	渡部 竜二 MF			
	萩尾 勇真 MF	1		
	一ノ瀬 建 DF			
	セルヒオ エスクデロ FW		2	
	蛸原 弘貴 FW			
	大池 昂之 GK			
	尾崎 綾 GK			
	金生谷 仁 MF			
	蟹澤 直人 GK			
	川原 拓郎 DF			
	小林 優平 DF			
	佐藤 謙介 MF			
	鈴木 竜基 FW	1	2	
	田中 宏育 MF			
	中山 透 MF			
	広瀬 祐太 MF			
	村上 裕磨 DF			
	村松 勇太 MF			
	山田 哲 GK			

Action Schedule 2005

YOUTH

1月	
2月	
3月	スペイン遠征(U-17)
4月	プリンスリーグ関東U-18予選リーグ(~5月)
5月	県U-16リーグ(~6月)
6月	日本クラブユース(U-18)予選
7月	アジア遠征(U-16)
8月	ドイツ短期留学(2~3人) プリンスリーグ順位決定戦 日本クラブユース選手権(U-18) 彩の国カップ(天皇杯県予選)
9月	全日本ユース(U-18)選手権
10月	Jユースカップ予選リーグ(~11月)
11月	
12月	Jユースカップ決勝トーナメント

Jr.YOUTH

1月	新人戦(U-14)(~2月)
2月	
3月	
4月	県U-14リーグ開始(~11月)
5月	クラブユース県予選(U-15)
6月	クラブユース関東予選(U-15)(~7月)
7月	
8月	日本クラブユース選手権(U-15)
9月	全日本ユース(U-15)県予選 ナイキカップ県クラブ予選(U-13)(~11月)
10月	全日本ユース(U-15)関東予選
11月	県クラブ選手権(U-15)
12月	全日本ユース(U-15)選手権

第12回 Jユースカップ 2004 決勝トーナメント

(三菱養和 SC戦、鹿島ユース戦)



よくゴールを守った GK大橋基史
(12.23)



鈴木竜基は後半、強引にドリブルを仕掛けた
(12.23)



鹿島ユース 戦

クリアする小松靖和。鹿島に大きなチャンス
は作らせなかった(12.23)



金生谷仁が前線にスルーパスを送る
(12.23)



右クロスを上げる西澤代志也(12.23)

◀先制ゴールを挙げた野島が CKキッカーの萩尾に抱きつく。かけよる堤(左)と小松(12.23)



前半 19分、エスクデロがシュートを放つ(12.23)



途中出場した山田純輝
(12.23)



守備的 MFの位置から攻めあがる堤俊輔
(12.23)

三菱養和 SC 戦

1回戦の三菱養和戦。前半 41分、萩尾勇真が先制ゴールを挙げる(12.12)



1回戦の三菱養和戦。後半 44分、シュートを放つ小池純輝。これがバーに跳ね返り、沢口の決勝ヘディングゴールを生んだ(12.12)

